

外国人教員，在外研究員および留学生等に関する
実態調査報告書

昭和49年11月

国立大学協会
第5常置委員会

まえがき

第5常置委員会は、かねてより学術・教育の国際交流を促進するために外国人留学生制度、外国人教員制度および在外研究員制度等の改善をはかる必要があるので、これらについての調査研究を行なってきた。

しかるにこれらの制度の運用については、政府の行政資料はあっても、その運用の実態、特に各大学における運用の実情、運用の改善についての希望等に関する資料がないので、すみやかに具体的な資料を入手する必要に迫られた。よって第5常置委員会は、昭和48年10月1日現在についてアンケート調査を行なって運用の実態を知るとともに各大学の意見を徴することとし、「外国人教員、文部省在外研究員および留学生に関する実態調査票」を各大学に送附して回答を求めた。

本常置委員会はアンケートを送附した76大学全部の回答について、今春以来これを集計整理して検討を続けてきた。この報告書はその結果を取りまとめたものである。集計結果は、他の資料、たとえば文部省の行政資料と一致しないものがある。たとえば、在学研究員について、かなりの数字の開きが認められる。そこで、本来ならば他の資料とのクロスチェックを行なうだけでなく、不一致の項目については再調査をすることも考えられるが、今回はそれを行わないことにした。もとよりこのアンケート調査の本来の目的は、本委員会の研究資料をえることにあるが、その内容は各大学でもご参考になることが多いと思われるので、これを印刷に附し、ご利用いただくことにした。よってご利用いただくための便宜上、最初にアンケートそのままを記載して、設問の内容を読んでいただくよう配慮した次第である。

なお、アンケート集計整理中、たまたま昭和50年度予算の編成の時期がきたので、取り急ぎ政府に要望すべき事項を選択し、(Ⅱ) 在外研究員の増員と在

外期間の延長、(ii) 外国人教員の増員と宿舎の確保、(iii) 外国人留学生の宿舎の確保、の3点について「在外研究員、外国人教員および外国人留学生に関する要望書」として、総会の承認をえて昭和49年6月18日付、国立大学協会会長名をもって文部省に提出した。その要望書は、付表の前に添付しておいた。

終りに、このアンケートの作成ならびに結果の取りまとめから報告書の作成にいたるまで、本委員会専門委員白倉昌明東大工学部教授をわずらわしたことを記し、そのご努力に対し感謝の意を表したい。

昭和49年10月24日

国立大学協会

第351常置委員会

第5常置委員会(大学間の協力)

昭49.10現在

| | | |
|------|--------|-------|
| 委員長 | 後藤正夫 | 大分大 |
| 委員 | 大原久友 | 帯広畜産大 |
| " | 玉山勇 | 福島大 |
| " | 鐘ヶ江信光 | 東京外語大 |
| " | 佐々木忠義 | 東京水産大 |
| " | 小島清 | 一橋大 |
| " | 水戸部正男 | 横浜国立大 |
| " | 桜場周吉 | 静岡大 |
| " | 芦田淳 | 名古屋大 |
| " | 牧祥三 | 大阪外語大 |
| " | 井上智勇 | 奈良教育大 |
| " | 芦田讓治 | 愛媛大 |
| " | 西沢弘順 | 高知大 |
| " | 日高醇 | 九州大 |
| " | 太田博太郎 | 九州芸工大 |
| " | 勝木司馬之助 | 宮崎医科大 |
| 専門委員 | 白倉昌明 | 東京大教授 |
| " | 新堀通也 | 広島大教授 |

目 次

まえがき

委員会名簿

| | |
|-----------------------------|-------|
| A 設 問(アンケート調査票)..... | 1 |
| B 実態調査結果..... | 6 |
| I 外国人教員について | 6 |
| (1) 外国人教員現在員数 | 6 |
| (2) 外国人教員の担当科目 | 7 |
| (3) 外国人教員増員の要望 | 8 |
| (4) 外国人教員の任用 | 8 |
| (5) 外国人教員の待遇全般についての意見 | 8 |
| II 外国人教員宿舎について..... | 9 |
| III 文部省在外研究員について | 10 |
| IV 留学生について | 10 |
| (1) 外国人留学生の受入れ状況..... | 11 |
| (2) 外国人留学生の宿舎 | 11 |
| (3) 国費外国人留学生制度についての意見 | 11 |
| (4) 日本人学生の海外派遣についての意見 | 11 |
| む す び..... | 12 |
| 付 表..... | 15~41 |

〔 A 〕 設 問 （ アンケート調査票 ）

昭和48年11月15日に国大協議第132号をもって各国立大学長宛照会した設問をここに掲載いたします。

「外国人教員、文部省在外研究員および留学生に関する実態調査」

（ _____ 大学 ）

以下の設問において、二者択一によるご回答をいただく場合には該当するものに○印をお付け下さい。また、数字、文字あるいは文章によって実態をお示しいただき、あるいはご意見をお述べいただく場合には、所定の空欄にご記入下さい。空欄が不足する場合には、紙片を貼付してご記入下さい。

I 外国人教師および講師について

この設問においては、外国人教師および講師を総称して外国人教員という。

1. 外国人教員を採用しておられますか。（昭和48年10月1日現在）

- (1) 採用している。
- (2) 採用していない。

§ § (1) の場合

A 外国人教師（常勤）

- a 人数（ 名）
 - (1) 一般教育関係（ 名）
 - (2) 専門教育関係（ 名）
- b 所属
 - (1) 大学院関係（ 名）
 - (2) 上記の(1)、(2)、(1)のうち
2つ以上兼担（ 名）

c 担当科目

各分類毎に担当科目をお書き下さい。

- (1) 一般教育関係：
- (2) 専門教育関係：

- (イ) 大学院関係：
- (ロ) 上記(イ)、(ウ)、(エ)のうち2つ以上兼担：

B 外国人講師（非常勤）

- a. 人数（名）
- (イ) 一般教育関係（名）
 - (ロ) 専門教育関係（名）
- b. 所属
- (イ) 大学院関係（名）
 - (ロ) 上記(イ)、(ウ)、(エ)のうち2つ以上兼担（名）

c. 担当科目

各分類毎に担当科目をお書き下さい。

- (イ) 一般教育関係：
- (ロ) 専門教育関係：
- (ウ) 大学院関係：
- (エ) 上記(イ)、(ロ)、(ウ)のうち2つ以上兼担：

§ § (2)の場合

- a. 採用する必要がない。
- b. 採用したいが採用できない。

2. 外国人教員の増員を希望しますか。希望する場合には、科目および員数を記入して下さい。

(1) 希望する。

| | 科目 | 員数 |
|----------------------------|----|----|
| { 一 ロ ハ ニ } | | |
| | | |
| | | |
| | | |

(2) 希望しない

§ § (2)の場合

具体的にご意見をお書き下さい。

[]

3. 外国人教員の任用について次のような意見がありますが、(1)および(2)のどちらが望ましいとお考えですか。また、ほかに望ましい方法がありましたら(3)に具体的にお書き下さい。

- (1) 現行制度どおりでよい。
(2) 日本人教員と同等の待遇(国家公務員)とする。
(3) その他 []

4. その他外国人教員の任用あるいは給与その他待遇全般についてご意見があればお書き下さい。

[]

II 外国人教員の宿舎について

1. 現状についてお書き下さい。(昭和48年10月1日現在)

- (1) 大学所属宿舎に： _____ 名
(2) 借家(自費負担)に： _____ 名
(3) 借家(大学借上)に： _____ 名
(4) その他の宿舎に： _____ 名

§ § (4)の場合

具体的にご説明下さい。

[]

2. その他外国人教員の宿舎の在り方についてご意見があればお書き下さい。

[]

III 文部省在外研究員について

1. 最近3年間(昭和46年度~48年度)における在外研究員の実情について、つぎの設問にお答え下さい(現在出張中の者も含む)。

- (1) 文部省在外研究員制度による「長期」海外出張教員の人数と出張時の平均年齢

- a 人数 (名)
b 平均年齢 (才)

(2) 同じく「短期」海外出張教員の人数と出張時の平均年齢

a 人数 (名)

b 平均年齢 (才)

(3) 文部省在外研究員制度以外による海外出張教員の人数と出張時の平均年齢(ただし、出張期間が6カ月以上のものについて)

a 人数 (名)

b 平均年齢 (才)

(4) 貴学の昭和48年10月1日現在の教員数(教授、助教授、専任講師等の現員)をお知らせ下さい。

教員数 (名)

2. 文部省在外研究員制度について、旅費額、員数、期間等について、ご希望がありましたらおきかせ下さい。

()

IV 留学生について

1. 外国人留学生の受入れ状況(日本の大学に留学する目的をもって入国した者のみを対象とする。)(昭和48年10月1日現在)

(1) 在籍している。

(2) 在籍していない。

§ § (1)の場合(〔 〕内に学生国際交流制度による交換留学生数を内数で記入下さい。)

A 国費留学生数 (総数 名) (名)

a 学部留学生 { 文科系 (名) (名)
理科系 (名) (名)

b 研究留学生 { 文科系 (名) (名)
(研究生) 理科系 (名) (名)

c 研究留学生 { 修士課程 文科系 (名) (名)
(大学院生) 理科系 (名) (名)
博士課程 文科系 (名) (名)
理科系 (名) (名)

- B 私費留学生数 (総数 名)
- a 学部留学生 { 文科系 (名)
理科系 (名)
- b 研究留学生 { 文科系 (名)
(研究生) 理科系 (名)
- c 研究留学生 { 修士課程 文科系 (名)
(大学院生) 理科系 (名)
博士課程 文科系 (名)
理科系 (名)

2. 外国人留学生の宿舎について(昭和48年10月1日現在)

(1) 留学生宿泊施設に入っている。(名)

内訳 大学所属施設 (名)

留学生関係団体の運営する施設 (名)

(2) 下宿、アパート等に入っている。(名)

(3) その他(具体的にお書き下さい。)

[]

3. 国費外国人留学生制度についての改善意見がありましたら、おきかせ下さい。

(1) 外国人留学生の日本語教育について

[]

(2) その他

[]

4. 日本人学生の海外派遣について、ご意見があればおきかせ下さい。

注 「日本人学生の海外派遣」とは、下記の諸制度によるものをいいます。

(i) 学生国際交流制度

(ii) 教員養成大学・学部学生海外派遣制度

(iii) アジア諸国派遣留学生制度

[]

〔B〕 実態調査結果

ご回答頂いた全国立大学76大学を、主として所在地の地理的配置にしたがって北から南へと、便宜上1より76までの番号を付して、以下それによって識別することとする。(付表1)

I 外国人教員について

ここに外国人教師(常勤)および外国人講師(非常勤)を総称して外国人教員という。

外国人教員に関する、各大学別の数字を付表2に示す。

(1) 外国人教員現在員数

付表2において、外国人教師および外国人講師について、それぞれ現在員数ならびにその内訳を、(イ)一般教育関係、(ロ)専門教育関係、(ハ)大学院関係および(ニ)上記の(イ)、(ロ)、(ハ)のうち2つ以上兼担に分類した数字が示されている。

上記の内訳のうち(ニ)兼担の項に該当者のある場合については、大学によって二つの異った表示方法のいずれかが採られていて、統一されていない。すなわち、(イ)、(ロ)、(ハ)および(ニ)の4項の数字の合計が、現在員数より多い場合と、現在員数に一致する場合とである。前者の場合は、(イ)、(ロ)および(ハ)の3項のうち2項以上に関連している兼担の教員について、(イ)、(ロ)、および(ハ)のうちの該当欄にそれぞれ数字1が計上されている場合であり、後者の場合は、(イ)、(ロ)、および(ハ)のうちの該当欄には数字を計上せず、(ニ)兼担の欄にのみ計上されている場合である。したがって、付表2の最後尾の列(最も右の列)に示されている総計の数字は、(イ)、(ロ)、および(ハ)の各項については、完全に正確とはいえないもので、全大学についての総計の実数は、付表2に示す数字より若干上まわるものとなる。

また、一大学において外国人講師の立場にある教員が他の大学においては外国人教師の立場にある場合もあるので、1教員が二重に計上されることがあり得る。したがって、外国人教師総数138名と外国人講師総数223名の和361名を、外国人教員の全国立大学についての総計と採ると、実数よりやや多めになるであろう。

付表2より、外国人教師については、7.6大学中2.6大学、すなわち、 $2.6 / 7.6 \approx 0.34$ 、全体の約34%の大学においては採用されていない。また、外国人講師については、7.6大学中1.2大学、すなわち $1.2 / 7.6 \approx 0.16$ 、全体の約16%の大学においては採用されていない。

外国人教師総計138名に対して、外国人講師総計は223名であって講師総数は教師総数の $223 / 138 \approx 1.6$ 、約1.6倍の実情である。この比率については、(1)一般教育関係および(2)専門教育関係に関して、それぞれ $79 / 41 \approx 1.7$ および $122 / 84 \approx 1.5$ とほぼ同様の数字が認められる。これに反して、兼任教員については、兼担する教師総数64名に対して講師総数31名であって、講師総数は教師総数の $31 / 64 \approx 0.5$ 約半数となっている。

一般教育関係の員数は、外国人教師については、 $41 / 128 \approx 0.30$ と、教師全体の約30%であり、外国人講師については、 $79 / 223 \approx 0.35$ と、講師全体の約35%を占め、共に全体の約1/3に当たっている。これに対して、専門教育関係の員数は、外国人教師については、 $84 / 138 \approx 0.61$ と、教師全体の約61%であり、外国人講師については、 $122 / 223 \approx 0.55$ と、講師全体の約55%を占め、共に全体のほぼ6割に当り、外国人教員の半数以上が専門教育に関係していることとなる。なお、大学院関係を担当している員数は外国人教師については10名(全数138名のうち)、外国人講師については11名(全数223名のうち)、となっている。

(2) 外国人教員の担当科目

外国人教師の担当科目を付表3に示す。外国人教師に関しては、一般教育関係については英語、英会話・作文などが圧倒的に多く、仏語、独語などが若干あり、さらに英米文学、独文学などが一、二例あるが、これを要するに大多数は語学教育に関係している。なお、特殊なものとして、中国語、チベット語(大阪外国語大学)などがある。

専門教育については、英語、仏語、独語など語学関係が最も多く、ついで英文学、仏文学、独文学などの外国文学関係がつづき、特殊な語学としては、スペイン、ポルトガル、中国、ベトナム、アラビアの各国語(東京外国語大学)および中国、朝鮮、インドネシア、ヒンディー、タイ、ベル

シア、イタリア、スペイン、ロシア、デンマークの各国語（大阪外国語大学）などがあり、さらに外国語、外国文学関係以外にも、オペラ、指揮、弦楽、管楽（東京芸術大学）、音楽（大阪教育大学）の他、高分子液体、エルゴード理論、蛋白質合成、インド仏教文献、他8件の科目（京都大学）があげられている。

大学院関係については、(1)節に既述したように、件数が少なく、その殆んどが外国語、外国文学に関するものである。

兼担についても、外国語、外国文学に関するものが多い。

外国人講師の担当科目を付表4に示す。一般教育関係については外国語、専門教育関係、大学院関係および兼担については、外国語および外国文学などが大多数を占めることは外国人教師の場合と同様である。

(3) 外国人教員増員の要望

標記に関しては付表2および付表5を参照されたい。

外国人教員増員については、8大学を除く68大学、すなわち $68/76 \approx 0.90$ 、全体の約90%の大学において要望している。増員希望数は、大学ごとに著しい差があるが、それを機械的に集計すると、国立大学について総計345名となる。これは外国人教員現在員数総計361名とほぼ同数である。したがって、現在員数を約2倍に増員することが要望されているといえよう。

また、増員を要望されている教員の担当科目は、付表5に示されている。ここでも、外国語、外国文学関係の科目が最も多いが、それ以外に工学、理学、経済学、医学、薬学関係などもかなり認められる。

(4) 外国人教員の任用

外国人教員の任用について、現行制度どおりでよいか、あるいは日本人教員と同等の待遇（国家公務員）とするのがよいか、に関しては付表2に示すように、現行制度を可とするもの41大学、日本人教員と同等の待遇とすべきとなすもの14大学で、前者が全数の約3/4を占めている。なお、一大学内にて部局によって意見が分かれている場合には、現行制度どおりおよび日本人教員と同等の待遇の両方に1/2大学分を加算した。

(5) 外国人教員の待遇全般についての意見

待遇全般についての意見は、付表6に示すとおりである。給与の増額および住宅費の保証など処遇一般の改善を要望する意見が26件と全国立大学数の約1/3に当る大学より出されている。ついで、医療保障制度の確立について11大学より意見が出されている。

II 外国人教員宿舎について

外国人教員宿舎についての内訳は、付表7に示すとおりである。外国人教師総数は、付表3(その3)によれば138名であるが、付表7の内訳の(1)大学所属の宿舎及び(3)借家(大学負担)については、一般に、非常勤の外国人講師の場合は、該当しないものと考えられるので(1)及び(3)の数は専任教員である外国人教師にかかる数であるとする、外国人教師のうち62名、すなわち $62/138 \approx 0.45$ 、全体の約45%が大学所属に、また、これに大学が費用を負担している借家に入居している43名を加えると合計105名、すなわち $105/138 \approx 0.76$ 、全体の約76%が直接あるいは間接に宿舎について大学より便宜を与えられていることとなる。したがって、この調査では、以上のような前提にたつと、約24%の外国人教師は宿舎について大学より特に恩恵を受けていないこととなるが、その理由、事情が本人の都合によるものか、大学の都合によるものか、不明である。

なお、付表7では、外国人教員総数276人にかかる宿舎事情の内訳が示されているが、付表3(その3)によれば、外国人教員数は、外国人教師138名、外国人講師223名合算361名となっている。これは、付表7の場合は、宿舎問題であるので、専任教員であるところの外国人教師のみに限って計上した大学と非常勤の外国人講師についての数も含めて計上した大学があることや前述のようにある大学において外国人教師であるものが他大学で外国人講師となっているような関係が二重に計上されている場合もあることなどによるものと思われる。また一部大学負担で、一部自費負担のような場合大学負担に計上した大学と自費負担に計上した大学とが予想されることなどから、この調査結果から外国人教師についての宿舎事情の内容を明確にすることは困難であるが、ここでは、前述のような前提にたつて(1)及び(3)の

教により外国人教師の宿舎事情をみることにした。

外国人教員の宿舎のあり方についての意見は、付表8にまとめて示されている。

III 文部省在外研究員について

最近3年間(昭和46年度～48年度)における文部省在外研究員の実情について、(i)在外研究員制度による「長期」海外出張教員の人数と出張時の平均年齢、(ii)同じく「短期」海外出張教員の人数と出張時の平均年齢、(iii)文部省在外研究員制度以外による海外出張教員の人数と出張時の平均年齢(ただし、出張期間が6カ月以上のものについて)および(iv)各大学の昭和48年10月1日現在の教員数(教授、助教授、専任講師の現員)は、各大学について付表9に示すとおりである。ただし、教員数については、助手の現員数まで加算してある大学(その旨明記してある大学および明記はしてないがそのように判断される大学)があるので、付表9(その3)に示す教員総数の全国総計38,167名には、かなりの数の助手をも含んでいるものである。他の資料によれば、設問の趣旨にかなう、全国総計の国立大学教員総数は、昭和48年5月1日現在24,985名となる。

在外研究員として1年間に出張する人数は、国立大学について、昭和46～48年度の平均として、長期は $778 \div 3 \approx 259$ 名となり、長期と短期の合計については、 $(778 + 379) \div 3 \approx 386$ 名となる。これらの数字と、教員総数24,985名とを考え合わせると、教員1人について、長期に関しては、 $24,985 \div 259 \approx 97$ 、すなわち約100年に1回機会を得て海外に出張し得ることとなる。また、長期と短期の合計については、 $24,985 \div 386 \approx 65$ 、すなわち65年に1回機会を得て海外に出張し得る。

文部省在外研究員制度の旅費額、員数、期間などについての希望を付表10にまとめて示す。約半数の40大学より派遣員数の増加、旅費の増額および派遣期間の延長についてそれぞれ約1/4数の大学より要望が出されている。

IV 留学生について

(1) 外国人留学生の受入れ状況

外国人留学生の受入れ状況をまとめて、付表11に示す。この表より、国費留学生の総計766名に対して、私費留学生の総計は1,403名と国費の約1.8倍にのぼっていることが注目される。また、国費および私費を通じて、国費の研究生以外の、学部学生、研究生および大学院生のすべての分類について、文科系学生数より理科系学生数の方が多い。すなわち、各分類についての数字について述べることは省略し、国費留学生全体および私費留学生全体について述べると、国費の場合（ただし研究生を除く）には、文科系123名、理科系261名であって、理科系が文科系の約2.1倍である。また、私費の場合には、文科系398名、理科系1,005名であって、理科系が文科系の約2.5倍である。

なお、国費の研究生についてのみ、文科系217名、理科系165名と、文科系が多いのは、文科系の場合には大学院の正規学生となることが、理科系の場合に比してより困難なることに関連があるかとも思われる。また、欧米からの留学生は日本研究を中心に比較的文科系に集中していることと、日本での学位取得にこだわらず研究活動のみに重点をおく傾向があることも一因であろう。

(2) 外国人留学生の宿舎

外国人留学生の宿舎に関して、宿舎の種別ごとの居住人数については、付表12に示すとおりである。留学生総数2,150名のうち、留学生宿泊施設に居住している学生数533名、すなわち $533/2,150 \approx 0.25$ となつて、全数の約25%に当り、残りの約75%が下宿、アパートおよびその他に居住している。また、留学生宿泊施設に入っている533名のうちの、約1/3の176名は大学所属の宿泊施設に居住している。さらに、この176名という数は、留学生総数2,150名の、約8.2%に当る。

(3) 国費外国人留学生制度についての意見

国費外国人留学生制度に関連し、日本語教育についての改善意見をまとめて付表13に示す。

(4) 日本人学生の海外派遣についての意見

日本人学生の海外派遣についての意見をまとめて付表14に示す。

む す び

以上に詳述した、外国人教員、文部省在外研究員および留学生等に関する実態調査の結果、設問が適切でなかったため問題が残されている点があるが、現行制度がどのように運用されているか、また、現行制度について各大学がどのような改善を望まれているか等がかなり明らかにされている。第5常置委員会はこのアンケートの結果を参考にして、さらに研究を続け、外国人教員、文部省在学研究員および留学生等の制度の改善につとめる所存である。

在外研究員・外国人教員および外国人留学生に関する要望書

当協会はかねてより在外研究員・外国人教員および外国人留学生について調査研究を行ない、関係方面に対してその改善の要望を行なってきたが、昨年10月にこれらの事項についてアンケート調査を実施した。

ここに、とりあえず多数の大学の望むところを集約して、次の諸事項についてその実現方を要望する。

1. 在外研究員の増員と在外留学期間の延長について

在外研究員の増員に関しては、関係方面のご努力により若干の改善がなされたが、現在なお教官総数から見れば在外研究の機会は、数十年に一度の割合にすぎず、しかも在外研究の期間は、長期在外研究員、短期在外研究員とも十分な研究成果を期待するには短期間にすぎると考えられる。

ついては、在外研究員の増員と在外研究期間の延長についてその実現をはかられるよう努力されたい。

2. 外国人教員の増員と宿舍の確保について

外国人教員については常勤の外国人教師、非常勤の外国人講師とも現在の人員は大学の希望する員数に比し著しく過少であり、かつ、常勤の教師の宿舍の確保について予算および制度上から十分な措置が講ぜられていない。

ついては、外国人教員について倍増を目標として増員を図られるとともに宿舍の確保を可能にするよう必要な措置を講ぜられたい。

3. 外国人留学生の宿舍の確保について

外国人国費留学生の給与については、過去において数次にわたって増額され、その改善がなされている。しかし乍ら、他方その宿舍については、公的施設を利用できる者はほぼ全体の四分の一に過ぎず、西欧諸国の留学生受入れ施設に比し甚だしく貧弱であるといわざるをえない。

ついては、外国人留学生の宿舍について公的施設を更に整備するほか、宿舍確保のための措置を緊急に講ぜられたい。

昭和49年6月18日

国立大学協会

会長 林 健太郎

付表 1 外国人教員，在外研究員，留学生等に

関するアンケート 提出 大学名一覧

昭和48年12月

| 番号 | 大学名 | 番号 | 大学名 | 番号 | 大学名 |
|----|------|----|------|----|------|
| 1 | 北海道 | 27 | 東京商船 | 53 | 神戸商船 |
| 2 | 北海教育 | 28 | 東京水産 | 54 | 奈良教育 |
| 3 | 室蘭工業 | 29 | お茶の水 | 55 | 奈良女子 |
| 4 | 小樽商科 | 30 | 電気通信 | 56 | 和歌山 |
| 5 | 帯広畜産 | 31 | 一橋 | 57 | 鳥取 |
| 6 | 北見工業 | 32 | 横浜国立 | 58 | 島根 |
| 7 | 弘前 | 33 | 新潟 | 59 | 岡山 |
| 8 | 岩手 | 34 | 富山 | 60 | 広島 |
| 9 | 東北 | 35 | 金沢 | 61 | 山口 |
| 10 | 宮城教育 | 36 | 福井 | 62 | 徳島 |
| 11 | 秋田 | 37 | 山梨 | 63 | 香川 |
| 12 | 山形 | 38 | 信州 | 64 | 愛媛 |
| 13 | 福島 | 39 | 岐阜 | 65 | 高知 |
| 14 | 茨城 | 40 | 静岡 | 66 | 福岡教育 |
| 15 | 宇都宮 | 41 | 名古屋 | 67 | 九州 |
| 16 | 群馬 | 42 | 愛知教育 | 68 | 九州芸工 |
| 17 | 埼玉 | 43 | 名古屋工 | 69 | 九州工業 |
| 18 | 千葉 | 44 | 三重 | 70 | 佐賀 |
| 19 | 東京 | 45 | 滋賀 | 71 | 長崎 |
| 20 | 東京医歯 | 46 | 京都 | 72 | 熊本 |
| 21 | 東京外語 | 47 | 京都教育 | 73 | 大分 |
| 22 | 東京学芸 | 48 | 京都工芸 | 74 | 宮崎 |
| 23 | 東京農工 | 49 | 大阪 | 75 | 鹿児島 |
| 24 | 東京芸術 | 50 | 大阪外語 | 76 | 琉球 |
| 25 | 東京教育 | 51 | 大阪教育 | | |
| 26 | 東京工業 | 52 | 神戸 | | |

付表 2 外国人教員現在数 (その1)

| 大学番号 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | |
|---------------|-----|---|---|---|---|---|---|---|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|--|
| I 外国人教員 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| A. 外国人教師 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 現在員数(名) | 5 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 2 | 0 | 4 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 6 | 0 | 13 | 1 | 1 | 5 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | |
| (1)一般教育関係 | 4 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| (2)専門教育関係 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 3 | 0 | 8 | 0 | 0 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| (3)大学院関係 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| (4)兼 担 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 3 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 3 | 0 | 5 | 1 | 0 | 5 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| B. 外国人講師 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 現在員数(名) | 4 | 6 | 2 | 2 | 0 | 2 | 2 | 2 | 2 | 7 | 2 | 4 | 2 | 4 | 1 | 2 | 4 | 3 | 13 | 1 | 17 | 0 | 2 | 4 | 8 | 2 | 1 | 2 | 2 | 0 | |
| (1)一般教育関係 | 4 | 2 | 2 | 2 | 0 | 2 | 1 | 1 | 1 | 7 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 | 2 | 2 | 0 | |
| (2)専門教育関係 | 0 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 2 | 1 | 4 | 1 | 1 | 3 | 3 | 13 | 0 | 9 | 0 | 4 | 7 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| (3)大学院関係 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| (4)兼 担 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 7 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 外国人教員 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 増員希望数 | 20 | 7 | 2 | 1 | 1 | 2 | 4 | 3 | 9 | 1 | 1 | 5 | 4 | 4 | 1 | 0 | 1 | 6 | 26 | 0 | 0 | 3 | 2 | 3 | 6 | 5 | 1 | 2 | 0 | 0 | |
| 外国人教員任用 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (1)現行制度 | 4学部 | ◎ | | | ◎ | ◎ | | ◎ | 5部局 | ◎ | | ◎ | | ◎ | | | ◎ | | | ◎ | | | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | | | ◎ | | |
| (2)日本人教員と同等待遇 | 5学部 | | | | | | | | 2部局 | | | | | ◎ | | ◎ | | | | | | | | | | | | | ◎ | | |

付表 2 外国人教員現在数 (その2)

| 大学番号 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 | 37 | 38 | 39 | 40 | 41 | 42 | 43 | 44 | 45 | 46 | 47 | 48 | 49 | 50 | 51 | 52 | 53 | 54 | 55 | 56 | 57 | 58 | 59 | 60 |
|---------------|----|----|----|----|-----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| I 外国人教員 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| A. 外国人教師 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 現在員数(名) | 3 | 1 | 1 | 1 | 5 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 4 | 1 | 0 | 0 | 1 | 15 | 1 | 1 | 2 | 16 | 1 | 3 | 1 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 | 3 | 5 |
| (1)一般教育関係 | 3 | 0 | 0 | 0 | 4 | 2 | | 0 | | | 1 | 0 | | | 1 | 2 | 0 | 1 | 0 | 3 | 0 | 1 | 1 | | | 2 | 1 | | 2 | 1 |
| (2)専門教育関係 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 | 2 | | 1 | | | 3 | 0 | | | 0 | 13 | 1 | 0 | 2 | 16 | 1 | 2 | 0 | | | 0 | 0 | | 3 | 1 |
| (3)大学院関係 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | | | 0 | 0 | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7 | 0 | 0 | 0 | | | 0 | 0 | | 0 | 0 |
| (4)兼 担 | 0 | 1 | 1 | 1 | 4 | 2 | | 0 | | | 1 | 1 | | | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 8 | 0 | 3 | 0 | | | 2 | 0 | | 2 | 3 |
| B. 外国人講師 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 現在員数(名) | 2 | 4 | 6 | 1 | 3 | 0 | 2 | 0 | 1 | 5 | 3 | 1 | 0 | 3 | 4 | 11 | 1 | 1 | 5 | 21 | 3 | 4 | 0 | 0 | 3 | 1 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (1)一般教育関係 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | | 0 | | 0 | 1 | 3 | 0 | | 1 | 1 | 4 | 1 | 1 | 4 | 6 | 0 | 0 | | | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| (2)専門教育関係 | 0 | 1 | 5 | 1 | 1 | | 1 | | 1 | 2 | 0 | 1 | | 1 | 3 | 7 | 0 | 0 | 1 | 15 | 3 | 4 | | | 2 | 0 | 1 | 2 | 2 | 3 |
| (3)大学院関係 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | | 1 | | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6 | 0 | 0 | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| (4)兼 担 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | | 0 | | 0 | 2 | 0 | 0 | | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6 | 0 | 0 | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 外国人教員 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 増員希望数 | 4 | 1 | 2 | 2 | 8 | | 5 | 4 | 6 | 8 | 16 | 3 | | 1 | 3 | 44 | 2 | 2 | 17 | 9 | 3 | 13 | 2 | 1 | 2 | 1 | 3 | 5 | 6 | 4 |
| 外国人教員任用 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (1)現行制度 | ◎ | ◎ | | ◎ | 学部 | 1学部 | ◎ | ◎ | | | | | | | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | | ◎ | | ◎ | ◎ | | ◎ | ◎ | ◎ | | | |
| (2)日本人教員と同等待遇 | | | | | 1学部 | 1学部 | | | | | ◎ | | | ◎ | | ◎ | | | ◎ | | | | | ◎ | | | | | | |

付表 2 外国人教員現在数 (その3)

| 大学番号 | 61 | 62 | 63 | 64 | 65 | 66 | 67 | 68 | 69 | 70 | 71 | 72 | 73 | 74 | 75 | 76 | 総計 |
|---------------|----|----|----|-----|----|----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|------|
| I 外国人教員 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| A. 外国人教師 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 現在員数(名) | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 4 | 0 | 1 | 2 | 2 | 2 | 1 | 0 | 1 | 1 | 138名 |
| (イ)一般教育関係 | 1 | | 1 | 1 | 0 | 0 | 2 | | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 41名 |
| (ロ)専門教育関係 | 1 | | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 | | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | | 0 | 1 | 84名 |
| (ハ)大学院関係 | 0 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 10名 |
| (ニ)兼担 | 1 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 2 | 1 | 1 | | 1 | 0 | 64名 |
| B. 外国人講師 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 現在員数(名) | 2 | 3 | 3 | 2 | 0 | 0 | 3 | 1 | 0 | 1 | 2 | 1 | 0 | 1 | 2 | 4 | 223名 |
| (イ)一般教育関係 | 2 | 1 | 3 | 1 | | | 3 | 1 | | 0 | 0 | 1 | | 0 | 0 | 4 | 79名 |
| (ロ)専門教育関係 | 2 | 2 | 0 | 1 | | | 0 | 0 | | 1 | 1 | 0 | | 1 | 1 | 0 | 122名 |
| (ハ)大学院関係 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 | 11名 |
| (ニ)兼担 | 2 | 0 | 0 | 0 | | | 0 | 0 | | 0 | 1 | 0 | | 0 | 1 | 0 | 31名 |
| 外国人教員 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 増員希望数 | 6 | 4 | 9 | 4 | 4 | 2 | 4 | 1 | | 2 | 4 | 5 | 3 | 1 | 3 | 2 | 345名 |
| 外国人教員任用 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (1)現行制度 | ◎ | ◎ | | 2学部 | | ◎ | 1学部 | | | ◎ | ◎ | ◎ | | ◎ | ◎ | ◎ | 41大学 |
| (2)日本人教員と同等待遇 | | | | 2学部 | ◎ | | 1学部 | ◎ | ◎ | | | | | | | | 14大学 |

付表 3 外国人教師の担当科目 (その1)

| | 大学 番号 | (イ) | (ロ) | (ハ) | (ニ) | 大学 番号 | (イ) | (ロ) | (ハ) | (ニ) | 大学 番号 | (イ) | (ロ) | (ハ) | (ニ) |
|--|----------|---------------------------------------|--------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|----------|----------|----------------------|--------------|-------------------------------------|----------|------------------|--|--------------------------------------|-----------------|
| | 1 | 英, 独, 仏語 | 英語学, 仏語 独語学 独文学 | | | | | の各語科目 | | インドネシア語 の各語科目 | | | 英語学 英会話作文 | | |
| | 4 | 英語 | | | | 22 | 一般英語 | 英会話, 英作文 | 英語科目教育 演習 | 一般英語 英会話, I II 英作文英語科 教育演習 | 36 | 英語, 中国語 | 英会話作文 中国語講読 " 作文 " 会話 | | |
| | 5 | 英会話 | | | | | | | | | | | | | |
| | 7 | 独会話, 作文 英会話, 作文 | 独文演習 英米文学特殊 講義 | | | 23 | 英語 | | | | 38 | | 英語英文学 | | |
| | 9 | | 中国, 英, 独 仏語 | | 英, 独, 仏語 | 24 | | オペラ, 指揮, 弦楽, 管楽 | | * | 41 | 独語 | 英文学, 仏, 独 文学 | 独叙事文学 | 独文学 独叙事文学 |
| | 12 | | | | 英語, 作文 | 25 | 英語口述 | 英作文, 会話 演習, 英文学演習 | 英文学講義 | | 42 | 英語 | 英文学, 会話 | | |
| | 17 | | 英会話 I II III 講読 I II | | | 29 | 英会話, 作文 | | | | 45 | 英会話 | | | |
| (イ)一般教育関係 | 18 | 英会話 | 英会話, 作文 英文学 音声英語 文化概論 | | 一般英会話 | 31 | 英, 独, 仏語 | | | | 46 | | ☆ | | |
| (ロ)専門教育関係 | | | | | | 32 | | | | 英会話 英文学演習 | 47 | | 英語学, 作文 発音, 朗読法 | | |
| (ハ)大学院関係 | 19 | | 仏語, 仏文学 英語, 英米文学 | 中国語中国文学 仏語, 仏文学 独語, 独文学 | 中国語中国文学 仏語, 仏文学 独語, 独文学 | 33 | | | | 英会話, 作文 米文学, その他 | 48 | 英語 | | | |
| (ニ)上記の (イ), (ロ), (ハ)の うち2つ以上 兼担 | 21 | 英 独 スウェーデン ポルトガル, 中国 ベトナム, アラビア | | | 仏, 独, 伊 モンゴル ウルドゥ | 34 | | | | 独会話 " 作文 " 文学特殊 講義 | 49 | | 独文学, 仏文学 独文作品研究 仏文作品研究 | ◎ | |
| | | | | | | 35 | 英, 独語 | 独語, 文学講読 | | | 50 | 中国語, 英語 チベット語 | 中国語 朝鮮語 インドネシア語 ヒンディー語 タイ語, 英語 | 中国語 ベルシャ語 英語, 独語 仏語, イスパニア語 | (ハ)の科目 すべて兼担 |

* 主として(ロ)の科目を担当しているが(ハ)の授業をも全員が兼任している

☆ 別紙 1

◎ (ロ)(ハ)はすべて兼担

付表 3 外国人教師の担当科目 (その2)

| | 大学 番号 | (イ) | (ロ) | (ハ) | (ニ) | 大学 番号 | (イ) | (ロ) | (ハ) | (ニ) | 大学 番号 | (イ) | (ロ) | (ハ) | (ニ) |
|---|----------|----------|--|-----|-------------------------------|----------|---------------|------------------------|-----|--------------------------|----------|-----|-----|-----|--------------------|
| | | | ベルシャ語 独語, 仏語 伊語, スペイン語 ロシア語, デンマーク語 | | | 61 | 英会話 | 英会話, 英文学 英語学 | | | 75 | | | | 英語, 英作文 英会話, 文学 |
| | 51 | | 音楽 | | | 63 | 英語 英米文学 | | | | 76 | | 英語 | | |
| | 52 | 英語 | 英会話, 英作文 社会問題 社会心理学 文化人類学 | | | 64 | 英語 | | | | | | | | |
| | 53 | 英会話, 作文 | | | | 65 | | 英作文 実用英語 英会話 | | | | | | | |
| | 56 | 英会話 | 英文学特講 英作文, 会話 | | | 66 | | 英会話, 作文 時事英語 英語学 | | | | | | | |
| | 57 | 英語 | | | | 67 | 英会話 独語, 会話 | 英語 英文学 仏語, 仏文学 | | | | | | | |
| (イ)一般教育関係 | 59 | 仏語, 独語 | 英作文, 会話 仏語, 文学 独語 文学 | | 仏語, 仏文学 独語, 独文学 | 69 | 英語, 英会話 | | | | | | | | |
| (ロ)専門教育関係 | 60 | 英語, 英米文学 | 英語, 英文学 | | 英文学演習 独文学講義 独文学, 独語学 | 70 | 英 悟 | 英会話, 作文 | | | | | | | |
| (ハ)大学院 関係 | | | | | | 71 | | | | 英語学, 英会話 英米文学 商業英語 | | | | | |
| (ニ)上記の (イ), (ロ), (ハ)の うち2つ以上 兼 担 | | | | | 仏語学演習 仏文学 中国語演習 中国語学 | 72 | | 独 語 | | 英語 英会話, 作文 英語音音楽 | | | | | |

付表3 外国人教師の担当科目 (その3)

| | 大学 番号 | (イ) | (ロ) |
|----------------|----------|----------------|---|
| | 46 | 英語(英文学) 独文学 | 仏文学 高分子液体の構成式と加工技術の応用 エルゴード理論, 情報理論及び函数解析学に関する研究 インド仏教文献の初期の漢訳に関する研究 助力に対する反応の比較研究 蛋白質合成とその調節機構の研究 地域開発計画の理論と反応についての研究 インバー合金の磁性に関する研究 超高分解能電子顕微鏡による複雑結晶構造の研究 アミノ酸及び蛋白質の合成に関する微生物の働きの研究 数値解析学に関する研究 単分子膜の微細構造の電子顕微鏡的観察の共同研究 場の量子論の数学的基礎に関する研究 |
| | | (イ) | (ロ) |
| | | | 英語(英文学) 独文学 |
| (イ)一般教育関係 | | | |
| (ロ)専門教育関係 | | | |
| (イ)大学院関係 | | | |
| (ロ)上記の | | | |
| (イ), (ロ), (イ)の | | | |
| うち2つ以上 | | | |
| 兼担 | | | |

付表 4 外国人講師の担当科目 (その1)

| | 大学 番号 | (イ) | (ロ) | (ハ) | (ニ) | 大学 番号 | (イ) | (ロ) | (ハ) | (ニ) | 大学 番号 | (イ) | (ロ) | (ハ) | (ニ) |
|--|----------|-------------------------|-------------|-----|-----|----------|-------|--|-----|--------------------------------|----------|--------------|------------------------------|-------|-------------------------|
| | 1 | 英語 | | | | 14 | | 仏会話, 作文 英会話, 作文, 講読 | | | 24 | | ステンドグラス 技法 音楽, 音楽 | | |
| | 2 | 独語 | | | | 15 | | 英会話, 作文 | | | 25 | 中国語(会話) | 英会話, 作文 現代英語研究 | | |
| | 3 | 英会話 英米文学 | | | | 16 | 英語 | 英語 | | | | | フィールドメリッド 中国言語学 特講, 演習 | | |
| | 4 | 英, 独語 | | | | 17 | 英語 | 仏, 独, 中国会話 | | | | | 独文学史特講 独語会話 | | |
| | 5 | 英, 独語 | | | | 18 | 仏, 独語 | 独会話 英作文 | | 独語演習 独会話 | | | 仏文学史 | | |
| | 6 | 英, 独語 | | | | 19 | | 英語, 英文学 英国連邦論 日米経済関係 戦後米史 | | | 26 | 英, 独語 | | 英語 | |
| | 7 | 仏会話, 作文 | | | | | | 仏語, 仏文学 スペイン語, スペイン史 露語, 露文学 ポルトガル語 | | | 27 | 英会話 | | | |
| | 8 | 独語 | 英会話 | | | | | 独語, 仏文学 スペイン語, スペイン史 露語, 露文学 ポルトガル語 | | | 28 | 英語演習 独語演習 | | | |
| | 9 | 英会話 | 伊会話 伊語講読 | | | | | ポルトガル語 | | | 29 | 仏会話 独会話 | | | |
| (イ)一般教育関係 | 10 | 英独, 仏会話 中国語 日米文化史 | | | | 20 | 英語 | | | | 31 | | | 国際貿易論 | |
| (ロ)専門教育関係 | 11 | 独語 | 英会話 | | | 21 | | 英仏, 露語 ポルトガル, 中国語 デンマーク語 タイ, オランダ語 ベトナム語 | | 英仏, スペイン語 中国, ヒンディー語 タイ語 | 32 | | 科学哲学 | | 英会話, 作文 独語初級 独語特講 |
| (ハ)大学院関係 | 12 | 英会話 | 独文講読 英会話 | | | | | | | | 33 | 英語 | 独語 英会話, 作文 | | |
| (ニ)上記の (イ), (ロ), (ハ)の うち2つ以上 兼担 | 13 | 英語5科目 | 英会話 | | | 23 | 独語会話 | | | | 34 | | 英会話, 作文 商業英語 | | |

付表 4 外国人講師の担当科目 (その2)

| | 大学 番号 | (イ) | (ロ) | (ハ) | (ニ) | 大学 番号 | (イ) | (ロ) | (ハ) | (ニ) | 大学 番号 | (イ) | (ロ) | (ハ) | (ニ) | |
|-----------|----------|----------------|---|----------------|------------------------|----------|-----------------------------------|---|--|-------------------------------|----------|--------------------|------------------------------------|---------|----------------------------------|--|
| (イ)一般教育関係 | 35 | 仏語 | 独文学特講 | | | 50 | 中国語, 英語 独語, 仏語 イスパニア語 露語 | 朝鮮語 ウルドゥ語 アラビア語 独, 仏語 仏語, イスパニア語 露語, 英語 中国語 | 中国語 ベルシア語 英独, 仏語 イスパニア語 仏語 イスパニア語 | 中国語 英独, 仏語 イスパニア語 露語 | 60 | | 病理学 放射線医学 内科学 | | 英語発音会話 指導法 英語教育学 調査資料研究 | |
| | 37 | | 英米会話 | 工業英語 | | | | | | | | | | | | |
| | 40 | 英会話, 独語 | 英独会話 仏会話 英米文学 | | 英独会話 独語 | | | | | | 61 | 中国語 ドイツ語 | キリスト教文学 独作文 中国語 | | 中国語 | |
| | 41 | 英仏, 露語 | | | | 51 | | 英語 伊語 | | | 62 | | 英会話 英作文 | | | |
| | 42 | | 独語 | | | | | | | | | | | | | |
| | 44 | 独会話 | 英会話 | | 農業機械学 (収穫調整 機械学) | 52 | | 仏文学, 独文学 ヨーロッパ文学 英会話, 英文学 イスパニア語 独語 | | | 63 | 英会話 スペイン語 | | | | |
| | 45 | 英会話 | 英会話 作文 | | | | | | | | 64 | 英語 | 英文学特講 I 英語音声学 英作文, 会話 講演法 | | | |
| | 46 | | 独語学独文学 言語学 英語学, 英文学 中国語, 中国文学 伊, 米文学 キリスト教 | | | 55 | | 英会話 英会話, 作文 | | | 67 | 英会話 独語独会話 仏語 | | | | |
| | 47 | 中国語(初中級) | | | | 56 | 英会話, (初中級) | | | | | 68 | 英語 | | | |
| | 48 | 英語 | | | | 57 | | 英会話 | | | | 70 | | 英会話, 作文 | | |
| | 49 | 英会話, 講読 独会話 | 英文学 (ロ, ハ)は | 英文学作品研究 兼担) | | 58 | | 英会話 ラテン語 | | | 71 | | 整形外科学 | | 英作文, 会話 | |
| | | | | | | 59 | 中国語 | 中国語, 中国会話 英語, 英会話 | | | 72 | 英会話 | | | | |

付表4 外国人講師の担当科目 (その3)

| | 大学 番号 | (イ) | (ロ) | (ハ) | (ニ) |
|--|----------|--------------------|------------|-----|------------------|
| | 74 | | 英会話 英作文 | | |
| | 75 | | 英会話 | | 独語基本 英作文, 英会話 |
| | 76 | 英会話 ラテン語 中国語 | | | |
| (イ)一般教育関係 (ロ)専門教育関係 (ハ)大学院関係 (ニ)上記の (イ), (ロ), (ハ)の うち2つ以上 兼担 | | | | | |

付表 5 外国人教員の増員 (その1)
希望数および科目

| 大学番号 | 希望科目 | 大学番号 | 希望科目 | 大学番号 | 希望科目 | |
|------|---|------|--|------|---|---|
| 1 | (文学部) 露語, 中国語 (各1名) (経済学部) 地域経済研究(アメリカ, イギリス) } (各1~2名) 現代経済事情(各国別) | 9 | 英語, 言語学 (1名) 外国地理 (1名) | 19 | 中国現代文学, 英米文学 (各1名) Praktische Übungen (1名) 北欧語学, 北欧文学 (1名) 工学系大学院専門教育関係 (4名) 化学, 動物学, 地理学 (各1名) 数学 (1名) 外国畜産, 農業環境調節工学 (各1名) 英, 仏, 独, 中国語, 現代アメリカ研究 (各1名) | |
| | (理学部) 量子化学, 有機化学, 海外地質学 (各1名) (歯学部) 解剖学, 生理学, 生化学, 病理学, 微生物学, 薬理学, 理工学, 予防歯科保存学, 歯科補綴学, 口腔外科学 歯科矯正学 (各1名) | 10 | 露語 (1名) | | | |
| | | 11 | 英米文学演習 } (1名) 英会話作文 | | | |
| | | 12 | 独語 (1名) 生化学 } (各1名) 英語 (2名) 電熱工学 | | | |
| | | 13 | 外国語(外国文学) 英独, 仏, 露語 (各1名) | | 22 | 英米文学, 又は英語関係 (各1名) 独, 仏語 (各1名) |
| | | 14 | 独語学演習(会話, 作文) } (1名) 独文学 英会話, 英語学 (2名) 仏文学, 仏語学 (1名) | | 23 | 英, 独語 (各1名) |
| | | 15 | 英語 (1名) | | 24 | 指揮, ピアノ, 打楽器 (各1名) |
| | | 17 | 中国語 (1名) | | 25 | 中国文学, 中国事情 (各1名) 実験心理, 教育心理, 生理心理, 発達心理学 (各1名) |
| 2 | 独語 (2名) 仏語 (2名) | 18 | (人文学部) 米文学 (1名) 独語講義, 独語学(作文) (1名) (教育学部) 英米文学講義, 講読 (1名) (教養学部) 一般教育, 英語専任(アメリカ人) "非常勤(イギリス人) 独語専任 (各1名) | 26 | 英会話, 英作文 (2名) 独, 仏, 露語 (1名) | |
| 3 | 独語 (2名) | | | 27 | 英会話 (1名) | |
| 4 | 仏語 (1名) | | | 28 | 仏, 露語 (各1名) | |
| 5 | 独語会話 (1名) | | | 31 | 英, 仏, 露, 中国語 (各1名) | |
| 6 | 英語 } (各1名) 独語 } | | | 32 | 英会話(一般, 専門) (各2名) | |
| 7 | 英作文演習 西洋文学 外国語(英, 仏, 独, 又はスペイン語) } (各1名) | | | | | |
| 8 | 英語 } (各1名) 仏語 } 独語 } | | | | | |

付表 5 外国人教員の増員 (その2)
希望数および科目

| 大学番号 | 希望科目 | 大学番号 | 希望科目 | 大学番号 | 希望科目 |
|------|---|------|--|------|---|
| 33 | 独文学史, 独文学特講, 独会話 (1名) 仏語学演習 (1名) | 44 | 英語 (1名) | 51 | 音楽, ピアノ, 声楽 (各1名) 英会話, 作文 (1名) |
| 34 | 英語教育担当 (2名) (英会話, 英文学特殊講義, 現代アメリカ文学, アメリカの人文地理) | 45 | 英語学 (2名) 中国語 (1名) | 52 | (文学部) 英米文学, 英語学 (各1名) (経済学部) 仏文学, 仏語学 (各1名) 開発途上国経済論 独文学 (1名) |
| 35 | (法文学部) 英米文学 (1名) (教育学部) 英会話, 英作文 (1名) 英語学 (1名) (教養部) 英, 仏, 露, 中国語 (各1名) | 46 | 英語学, 英米文学 (5名) 伊語学伊文学 (1名) 独語学, 独文学 (3名) 教育学, 教育心理学 中国語学, 中国文学 (2名) 教育社会学, 教育行政学(各1名) 数学, 生物物理学, 植物学 (各2名) 医化学, 病理学, 臨床医学, 薬学, 製薬化学 (各1名) 原子炉物理学, 原子炉工学, 放射線物理 (各1名) 原子炉材料核燃料 (1名) 農林生物学 (数名) 家畜繁殖学, 家畜栄養学 (各1名) 仏語 (1名) | " | (理学部) 物理学, 化学 (各1名) (工学部) コンピューターサイエンス (1名) (教養部) 英語 (5名) 独語 (1名) |
| 37 | 英米文学, 語学, 英米会話 (各1名) プラズマ工学, 高電圧工学, 情報工学 (各1名) 科学英語 (物理, 化学, 数学) | 47 | 英米文学 (1名) 一般英語 (1名) | 53 | 独語会話 (各1名) 仏語会話 (各1名) |
| 38 | 英会話 (1名) 経済学特殊講義 (1~2名) 独語, 独文学 (1名) | 48 | 独語, 仏語 (各1名) | 54 | 現代英語 (1名) |
| 39 | 言語学 (言語心理学, 言語人類学) (1名) 英語 (2名) 教育工学 (1名) コミュニケーション理論 (1名) | 49 | 英米文学 (1名) 独, 仏語 (各2名) 英語 (4名) 朝鮮, 中国, 露, スペイン語 (各1名) 高分子化学, 無機化学, 有機化学, 物理化学 (各1名) | 55 | 英米文学, 英語学 (2名) |
| 40 | 英, 独, 仏語 (各2名) 英会話, 作文, 講読 (1名) | 50 | モンゴル, アラビア, ウルドゥ語, (各1名) 2部 (夜間学部) 中国, 英, 独, 仏, イスパニア, 露語 (各1名) | 56 | 英米文学 (1名) |
| 41 | 英文学 } 大学院 露, 中国, 伊語講読 (2名) 物理学 } 経済, 経営 (2名) 法学関係 } 化学, 分子生物学 (各1名) | | | 57 | 英語 (2名) 独語 (1名) |
| 42 | 英, 独, 仏語 (1名) | | | 58 | 米文学, 英文学, 英語学 (1名) 独語, 英米法 (各1名) 数学, 物理 (各1名) |
| | | | | 59 | 中国語, 中国文学 (1名) 図書館情報学 (1名) 英, 独, 仏, 露語 (各1名) |

付表5 外国人教員の増員希望数および科目 (その3)

| 大学番号 | 希望科目 | 大学番号 | 希望科目 |
|------|---|------|--|
| 60 | (歯学部) 歯学修辞学, 生理学 (各1名) (教養部) 英, 独語 (各1名) | 71 | (工学部) 専門教育関係 (1名) (教養部) 独, 仏語 (各1名) |
| 61 | 英語学 (5名) 独語, 独文学 (1名) | 72 | 英語 (3名) 独, 中国語 (各1名) |
| 62 | (教養部) 言語学, 英米文学 (各1名) 英, 独語 (各1名) | 73 | 英, 独, 仏語 (各1名) |
| 63 | 英語 (1名) 経済学 (1名) 独, 仏語 (各2名) 芸術関係科目 (1名) 中国, 露語 (各1名) | 74 | 英米文学 } (各1名) 英語学 } 英会話 } |
| 64 | 独語, 独文学 (2名) 英語学 (1名) 数学 (1名) | 75 | 独語, 独文学 (各1名) 英会話, 英作文, 音声学 |
| 65 | 独語, 英作文, 英会話 (各1名) 言語と文化 (1名) | 76 | 英米文学 } (各1名) 英語 } |
| 66 | 独, 仏語 (各1名) | | |
| 67 | 英会話 (2名) 中国語, 中国文学 (1名) 米文学 (2名) | | |
| 68 | デザイン関係の専門家 | | |
| 70 | 音楽(イタリア語) } (各1名) 英語学 } | | |

付表6 外国人教員の任用、給与その他待遇全般についての意見

| 意見概要 | 大学数 | 意見概要 | 大学数 |
|---|-----|--------------------------------------|-----|
| (i) 給与の増額および住宅費の保証等待遇改善を。 | 26 | (Xvi) 附置研究所にも外国人教員を任用し得るよう法規の改正をのぞむ。 | 1 |
| (ii) 外国人専任教員の医療保障制度の確立。 | 11 | (Xvii) 年功序列の給与体系を改める | 1 |
| (iii) 任用手続の簡素化と改善。 (毎年雇用決定通知遅延のため相手方に迷惑をかける) | 7 | | |
| (iv) 外国人教員の身分・待遇等について特別措置が講ぜられる制度の確立。 | 5 | | |
| (v) 専用宿舍の建設あるいは宿舍の確保。 | 5 | | |
| (vi) 外国語関係に限定されることなく、専門科目関係の教員の任用も可能とするよう。 | 5 | | |
| (vii) 長期にわたる任用の場合には、旅費支給による一時帰国を認めること | 5 | | |
| (viii) 任用期間中の研究費および外国における学会へ出席のための旅費の支給。 | 3 | | |
| (ix) 客員研究員制度の充実。 | 3 | | |
| (x) 短期間の任用を可能とする。 | 3 | | |
| (xi) 外国人教員の雇用条件および資格を明確に示してほしい。 | 2 | | |
| (xii) 多年日本で勤務した外国人教員には退職金はもとより、年金も支給すること。 | 2 | | |
| (xiii) 退職金の増額 | 1 | | |
| (xiv) 教員としてよりは、むしろ研究員として一流の人物を迎える制度の確立。 | 1 | | |
| (xv) 地方大学にても外国人教員の任用が容易となるよう、給与など待遇を改善する。 | 1 | | |

付表7 外国人教員宿舎

| 大学番号 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |
|--------------|---|----|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| II 外国人教員宿舎 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (1) 大学所属宿舎 | 5 | 1* | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 3 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 4 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| (2) 借家(自費負担) | 0 | 3 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 4 | 1 | 14 | 0 | 0 | 1 | 3 | 4 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | |
| (3) 借家(大学借上) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 4 | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| (4) その他に | 0 | 2 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 6 | 0 | 0 | 2 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | |
| (名) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

* 北大宿舎

| 大学番号 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 | 37 | 38 | 39 | 40 | 41 | 42 | 43 | 44 | 45 | 46 | 47 | 48 | 49 | 50 | 51 | 52 | 53 | 54 | 55 | 56 | 57 | 58 | 59 | 60 | |
|--------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|---|
| II 外国人教員宿舎 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (1) 大学所属宿舎 | 0 | 0 | 1 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 7 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 2 | 2 | |
| (2) 借家(自費負担) | 4 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 1 | 1 | 1 | 0 | 5 | 4 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 3 | 1 | |
| (3) 借家(大学借上) | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 3 | | |
| (4) その他に | 0 | 3 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 | 0 | 1 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 3 | 0 | 1 | 1 | 1 | 3 | 3 | 6 | 1 | 0 | 2 | 1 | 1 | 2 | 0 | 2 |
| (名) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 大学番号 | 61 | 62 | 63 | 64 | 65 | 66 | 67 | 68 | 69 | 70 | 71 | 72 | 73 | 74 | 75 | 76 | 総計 | | | |
|--------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|---------|--|--|--|
| II 外国人教員宿舎 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (1) 大学所属宿舎 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 62名 | | | |
| (2) 借家(自費負担) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 83名 | | | | |
| (3) 借家(大学借上) | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 43名 | | | |
| (4) その他に | 2 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 2 | 1 | 88名 | | | |
| (名) | | | | | | | | | | | | | | | | | 合計 276名 | | | |

付表8 外国人教員の宿舎のあり方についての意見

| 意見概要 | 大学番号 | 意見概要 | 大学番号 |
|---|------|---|------|
| 大学で外国人教員、国内流動研究員等、共用のアパートをもつことが必要 | 1 | 借り上げ宿舎の権利金、敷金等の国庫負担を検討すべき | 35 |
| 一般の公務員宿舎より優遇して考えるべきである | 2 | 生活様式の差異等を考慮して設計された専用宿舎 | 38 |
| 外国人教員専用の宿舎の設置を強く希望する | 7 | 外国人専用宿舎の建設は受入れ大学において考える必要あり(地方大学で外国人教員の任用がむずかしいのは一つには宿舎の問題)(電子工学研究所) 新任の日本人教員への配慮と同じで良い | 40 |
| 外国人教員専用の宿舎の設置を強く希望する。このため各大学で一般の大学施設と同じく庁舎として概算要求を行ない新設する必要がある。 | 9 | 地区ブロックもしくは大学所属宿舎として所用数の確保が必要。生活様式の相違を考慮して別枠を設けて維持費の増額を希望 | 41 |
| 専用宿舎の設置が必要(設備を外人向きにする) | 11 | 大学所属宿舎が望ましい | 42 |
| 国家公務員と同等の資格で入居できるようにすること | 13 | 地区ブロックもしくは大学所属宿舎として所用数の確保が必要 生活様式の相違を考慮して別枠を設けて維持費増額を希望 | 45 |
| 専用宿舎の設置 | 15 | 研究教育を行なうにふさわしい宿舎の確保(大学所属が望ましい) 来日外国人教員を全員収容できる宿舎の確保(家族権も考慮) 外人教員のみならず共同研究者(当該大学教官)も共に利用できる宿舎の建設 | 46 |
| 公設宿舎は不可欠である (民間アパート、マンションは不便かつ高価すぎる) | 18 | 専用宿舎(生活様式の相違を考慮すべきである) | 48 |
| 東京、大阪等の大都市に各国からの外国人教員の居住滞在施設を建設する。 (各大学がいつでも共用できるよう) | 19 | 地区ブロックもしくは大学所属宿舎として所用数の確保が必要 生活様式の相違を考慮して別枠を設けて維持費増額を希望 | 49 |
| 専用宿舎の建設を国費で行なうべきである | 21 | 宿舎数の不足は外人教員招へいの支障になる | 50 |
| 専用宿舎の建設を国費で行なうべきである | 23 | 大学独自の宿舎が必要(大学共通であると、その管理大学が使用優先にする傾向がある)借り上げ宿舎の権利金、敷金等の国庫負担を検討すべき | 52 |
| 10 大学学長懇話会の提案にある通りの宿舎建設を促進すべきものとする | 24 | 専用宿舎 | 55 |
| 宿舎は大学借上とするべきである | 25 | 専用宿舎 | 57 |
| 大学が責任をもって適当な宿舎を斡旋し光熱水費のみ自己負担とする | 26 | 各大学に少なくとも一戸は必要である | 58 |
| 国際交流が活発な大学には Guest House の設置が必要である (家具、寝具、厨房の設備は最小限備えるべき) | 31 | 生活様式差を考慮、单身、家族同伴の場合分けが必要 | 59 |
| 専用宿舎 | 32 | 物価高騰の折、現在の国の宿舎借上料月額負担 限度額(35,000)の引上げを願う | 60 |
| 専用宿舎(生活様式の相違を考慮すべきである) | 33 | 大学所属の宿舎の増加 | 61 |
| 専用宿舎 | 34 | 大学所属の宿舎の増加、民間の宿舎の選択は本人の意志にまかせること | 62 |

| 意見概要 | 大学番号 | 意見概要 | 大学番号 |
|--|------|---------------------|------|
| 専用宿舎 | 63 | 単身用宿舎にもう少し広いスペースを | 67 |
| 専用宿舎 | 64 | 宿舎確保のための特別な予算処置が必要 | 69 |
| 物価高騰の折現在の国の宿舎借上料月額負担限度 (35,000)の引上げをねがう | 65 | 専用宿舎(特に常勤外国人教師のための) | 74 |
| 住宅は十分なスペースが必要 | 66 | | |

付表9 文部省在外研究員制度などによる海外出張(その1)

| 大学番号 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | |
|----------------------|-------|------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|------|--------|------|-----|-----|------|-----|-----|------|----|-----|------|------|--|
| 文部省在外研究員 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (1) 文部省 在外研究員(長期) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| a.人数(名) | 40 | 2 | 2 | 4 | 5 | 3 | 6 | 8 | 46 | 2 | 7 | 7 | 5 | 5 | 2 | 11 | 7 | 17 | 72 | 14 | 6 | 4 | 4 | 2 | 8 | 15 | 4 | 1 | 4 | 6 | |
| b.平均年齢(才) | 38 | 385 | 385 | 415 | 42 | 366 | 47 | 40 | 36 | 44 | 43 | 418 | 397 | 38 | 40 | 37 | 37 | 37.6 | 37 | 392 | 41 | 45 | 44 | 40 | 43 | 38 | 47 | 41 | 378 | 410 | |
| (2) 文部省 在外研究員(短期) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| a.人数(名) | 12 | 6 | 3 | 0 | 6 | 1 | 5 | 2 | 12 | 2 | 2 | 5 | 2 | 6 | 3 | 7 | 6 | 8 | 24 | 7 | 5 | 5 | 4 | 4 | 3 | 11 | 2 | 3 | 3 | 3 | |
| b.平均年齢(才) | 48 | 48.0 | 46.7 | | 51 | 47 | 40 | 48 | 51 | 50 | 53 | 48 | 44.6 | 50 | 51 | 49 | 46.5 | 49.5 | 47 | 49 | 51 | 53 | 50.7 | 55 | 51 | 47.4 | 50 | 52 | 51.6 | 50.7 | |
| (3) その他の制度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| a.人数(名) | 54 | 2 | 0 | 4 | 3 | 0 | 7 | 2 | 75 | 2 | 7 | 1 | 1 | 4 | 2 | 10 | 7 | 31 | 196 | 18 | 23 | 13 | 1 | 1 | 12 | 23 | 0 | 1 | 2 | 2 | |
| b.平均年齢(才) | 36 | 365 | | 41 | 38 | | 37 | 47 | 37 | 32 | 32 | 38 | 30 | 45 | 30.5 | 33 | 39 | 34.4 | 35 | 35.1 | 36 | 47 | 49 | 36 | 44 | 33.3 | | 32 | 42.5 | 36.5 | |
| (4) 教員総数(名) | 1,785 | 372 | 122 | 72 | 112 | 71 | 482 | 307 | 2,191 | 115 | 370* | 451 | 184 | 406 | 220 | 559 | 284 | 566 | 3,660* | 238 | 128 | 312 | 185 | 142 | 574 | 380 | 97 | 127 | 172 | 152 | |

*附属教官
(教諭等)を含む

*助手1,856
を含む

付表9 文部省在外研究員制度などによる海外出張(その2)

| 大学番号 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 | 37 | 38 | 39 | 40 | 41 | 42 | 43 | 44 | 45 | 46 | 47 | 48 | 49 | 50 | 51 | 52 | 53 | 54 | 55 | 56 | 57 | 58 | 59 | 60 | |
|----------------------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----|-----|-------|-----|-------|-----|-----|-------|-----|-----|------|----|-----|-----|------|------|-----|-----|-------|--|
| Ⅲ 文部省在外研究員 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (1) 文部省 在外研究員(長期) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| a.人数(名) | 7 | 9 | 11 | 5 | 9 | 2 | 2 | 8 | 10 | 7 | 31 | 5 | 4 | 6 | 4 | 56 | 4 | 5 | 54 | 4 | 3 | 14 | 6 | 4 | 4 | 5 | 6 | 5 | 12 | 25 | |
| b.平均年齢(才) | 42.1 | 37 | 40 | 39 | 42 | 37 | 41 | 41 | 39 | 36 | 36 | 37 | 44 | 42 | 54 | 35 | 44 | 40 | 36 | 43 | 31 | 37.8 | 43 | 42 | 41 | 39.4 | 41.5 | 39 | 39 | 38.2 | |
| (2) 文部省 在外研究員(短期) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| a.人数(名) | 3 | 4 | 4 | 3 | 6 | 1 | 5 | 7 | 6 | 9 | 12 | 2 | 4 | 3 | 3 | 17 | 1 | 2 | 14 | 2 | 2 | 11 | 1 | 1 | 2 | 1 | 5 | 2 | 11 | 7 | |
| b.平均年齢(才) | 44.3 | 51 | 44 | 55 | 49 | 36 | 50 | 47 | 51 | 49 | 49.4 | 54 | 51 | 49 | 49 | 48 | 51 | 52 | 49 | 46 | 52 | 42.0 | 62 | 51 | 48 | 32 | 47 | 46 | 54 | 49.3 | |
| (3) その他の制度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| a.人数(名) | 13 | 6 | 25 | 3 | 20 | 2 | 0 | 4 | 7 | 5 | 63 | 2 | 3 | 5 | 1 | 144 | 0 | 4 | 113 | 7 | 4 | 29 | 0 | 0 | 1 | 1 | 5 | 3 | 27 | 26 | |
| b.平均年齢(才) | 42.8 | 40 | 37 | 34 | 37 | 39 | | 31 | 36 | 34 | 43 | 42 | 34 | 39 | 38 | 35 | | 36 | 37 | 40 | 39 | 35.2 | | | 40 | 51 | 37 | 33 | 34 | 34.1 | |
| (4) 教員総数(名) | 229 | 326 | 963 | 261 | 471 | 185 | 266 | 849 | 562 | 543 | 1,485 | 235 | 282 | 1,317 | 152 | 2,343 | 126 | 201 | 2,095 | 130 | 289 | 611 | 67 | 111 | 137 | 147 | 519 | 249 | 899 | 1,227 | |

付表9 文部省在外研究員制度などによる海外出張(その3)

| 大学番号 | 61 | 62 | 63 | 64 | 65 | 66 | 67 | 68 | 69 | 70 | 71 | 72 | 73 | 74 | 75 | 76 | | | | 総計 |
|----------------------|-----|------|-----|-----|-----|----|-----|------|-----|-----|------|-----------------|-------------------|------|-----|-----|--|--|--|------------|
| Ⅲ 文部省在外研究員 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (1) 文部省 在外研究員(長期) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| a.人数(名) | 13 | 14 | 6 | 4 | 6 | 6 | 25 | 5 | 4 | 5 | 10 | 8 | 4 | 5 | 14 | 3 | | | | 778名 |
| b.平均年齢(才) | 41 | 39.5 | 42 | 42 | 36 | 41 | 39 | 36 | 36 | 38 | 38.4 | 37 | 44.5 | 35.4 | 42 | 37 | | | | (平均) 38.5才 |
| (2) 文部省 在外研究員(短期) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| a.人数(名) | 5 | 2 | 1 | 5 | 4 | 1 | 15 | 0 | 0 | 2 | 8 | 7 | 3 | 5 | 5 | 3 | | | | 379名 |
| b.平均年齢(才) | 46 | 54.5 | 40 | 47 | 50 | 52 | 49 | | | 42 | 49.5 | 53 | 49.3 | 50.8 | 53 | 51 | | | | (平均) 48.9才 |
| (3) その他の制度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| a.人数(名) | 7 | 9 | 1 | 2 | 0 | 3 | 46 | 2 | 2 | 0 | 5 | 16 | 0 | 1 | 10 | 19 | | | | 1,150名 |
| b.平均年齢(才) | 39 | 31.1 | 31 | 42 | | 36 | 36 | 36.5 | 32 | | 34 | 34 | | 51 | 35 | 38 | | | | (平均) 42.4才 |
| (4) 教員総数(名) | 674 | 409 | 245 | 407 | 325 | | 909 | 60+ | 161 | 254 | 363 | 79 [☆] | 150 ^{**} | 223 | 633 | 450 | | | | 38,167名 |

+ 助手を含む

☆ 助手277名,
附属教官69名
を含む

** 助手20名
を含む

付表 10 文部省在外研究員制度の旅費額、員数、期間についての希望

| 希 望 概 要 | 大学数 | 希 望 概 要 | 大学数 |
|---|-----|--|-----|
| (i) 派遣員数の増加(短期および長期)。 | 40 | (ix) 多数の若手研究者に機会を与えるよう。 | 2 |
| (ii) 旅費の増額。 | 21 | (x) 滞在先の大学等に対する謝礼を考慮してもらいたい。 | 1 |
| (iii) 長期の制度では、期間は1年間になっているが、これに2~3年間の制度を新設追加(期間の延長)。 | 19 | (xi) 外国に留学者センターを設置し、研究および生活上の便宜を図る。 | 1 |
| (iv) 短期在外研究員は、規程上は3カ月以内とされているが、昭和47年度以降派遣期間は2カ月以内に短縮して実施されている。これを3カ月に延長してほしい。 | 16 | (xii) 年齢制限の廃止、または大幅に緩和。 | 2 |
| (v) 旅費、滞在費の他に、資料蒐集費および調査費を認めてもらいたい。 | 7 | (xiii) 事後調査のための再留学制度を。 | 1 |
| (vi) 現行の、長期在外研究員と短期在外研究員制度の他に、派遣期間を6カ月程度とする、中期在外研究員制度を新設してほしい。 | 3 | (xiv) 外国で開催される学会等への出席も、この制度に取り入れられないか。 | 1 |
| (vii) 滞在費の増額。 | 2 | (xv) 語学研修を目的とする語学教官のための在外研修制度を。 | 1 |
| (viii) 在勤地より東京までの交通費の支給。 | 2 | | |

IV(1)

付表 1 1 外国人留学生の受入れ状況 (その 1)

| 大学番号 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | |
|----------|----|---|---|---|----|---|---|----|----|----|----|----|-----|----|----|----|----|----|-----|----|----|----|----|------|-------|----|----|----|----|----|---|
| 外国人留学生 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| A. 国費留学生 | 15 | 0 | 0 | 1 | 6 | 0 | 0 | 2 | 35 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 | 1 | 1 | 2 | 10 | 88 | 4 | 24 | 8 | 4 | 9 | 44① | 50 | 1 | 12 | 5 | 12 | |
| a. 学部 { | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 文科 | 0 | | | 1 | 0 | | | 0 | 0 | | 0 | | | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 24 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 理科 | 0 | | | 0 | 0 | | | 0 | 5 | | 0 | | | 1 | 1 | 0 | 1 | 5 | 8 | 1 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 | 11 | 1 | 2 | 0 | 4 | |
| b. 研究生 { | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 文科 | 3 | | | 0 | 0 | | | 0 | 9 | | 0 | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 31 | 0 | 0 | 4 | 0 | 0 | 19 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | |
| 理科 | 8 | | | 0 | 3② | | | 1 | 9 | | 0 | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 | 18 | 3 | 0 | 0 | 2 | 0 | 3① | 17 | 0 | 5 | 1 | 2 | |
| c. 大学院 { | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 修士 { | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 文科 | 0 | | | 0 | 0 | | | 0 | 0 | | 0 | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 4 | 0 | 芸術 3 | 8 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | |
| 理科 | 0 | | | 0 | 3 | | | 1 | 2 | | 1 | | | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 | 14 | 0 | 5 | 1 | 6 | |
| 博士 { | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 文科 | 1 | | | 0 | 0 | | | 0 | 0 | | 0 | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 理科 | 3 | | | 0 | 0 | | | 0 | 10 | | 0 | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 18 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 8 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | その他 6 | | | | | | |
| B. 私費留学生 | 14 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6 | 13 | 80 | 1 | 8 | 4 | 0** | 1 | 1 | 14 | 1 | 72 | 303 | 6 | 17 | 0 | 21 | 13 | 86 | 73 | 5 | 41 | 14 | 3 | |
| a. 学部 { | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 文科 | 1 | | | | | | | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 8 | 4 | 0 | 17 | | 0 | 芸術 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 0 | |
| 理科 | 1 | | | | | | | 0 | 11 | 12 | 0 | 4 | 1 | | 0 | 0 | 11 | 0 | 36 | 15 | 1 | 0 | 15 | 0 | 0 | 44 | 5 | 27 | 3 | 0 | |
| b. 研究生 { | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 文科 | 2 | | | | | | | 0 | 0 | 5 | 1 | 1 | 0 | | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 86 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 37 | 0 | 0 | 0 | 4 | 0 |
| 理科 | 8 | | | | | | | 3 | 1 | 38 | 0 | 0 | 2 | | 1 | 0 | 0 | 0 | 19 | 56 | 4 | 0 | | 4 | 0 | 14 | 22 | 0 | 7 | 1 | 1 |
| c. 大学院 { | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 修士 { | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 文科 | 0 | | | | | | | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 8 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 9 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | |
| 理科 | 0 | | | | | | | 0 | 0 | 12 | 0 | 3 | 1 | | 0 | 1 | 3 | 0 | 0 | 35 | 0 | 0 | | 2 | 0 | 5 | 4 | 0 | 7 | 1 | 2 |
| 博士 { | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 文科 | 0 | | | | | | | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 36 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 19 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 理科 | 2 | | | | | | | 2 | 0 | 9 | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 63 | 1 | 0 | | 0 | 0 | 2 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | |

** 学部聴講生 5 名 (福島県費留学生)

IV (1)

付表 1 1 外国人留学生の受入れ状況(その2)

| 大学番号 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 | 37 | 38 | 39 | 40 | 41 | 42 | 43 | 44 | 45 | 46 | 47 | 48 | 49 | 50 | 51 | 52 | 53 | 54 | 55 | 56 | 57 | 58 | 59 | 60 |
|----------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-------------------|----|----|----|----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|------------------|------------------|----|----|------------------|-------------------|
| 外国人留学生 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| A. 国費留学生 | 26 | 14 | 4 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 4 | 3 | 14 ⁽¹⁾ | 0 | 8 | 3 | 0 | 108 | 0 | 1 | 56 | 73 | 0 | 18 | 0 | 0 | 3 | 2 ⁽²⁾ | 2 | 0 | 3 | 23 ⁽³⁾ |
| a. 学部 { | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 文科 | 2 | 5 | 0 | | 0 | | 0 | | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 7 | | 0 | 2 | 0 | | 2 | | | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | |
| 理科 | 0 | 2 | 2 | | 0 | | 0 | | 0 | 1 | 2 | | 0 | 1 | 12 | | 0 | 8 | 0 | | 2 | | | 0 | 0 | 0 | | 0 | 1 | |
| b. 研究生 { | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 文科 | 24 | 3 | 0 | | 0 | | 0 | | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 20 | | 0 | 10 | 73 | | 2 | | | 2 | 0 | 2 | | 1 | 4 ⁽³⁾ | |
| 理科 | 0 | 3 | 2 | | 1 | | 1 | | 0 | 1 | 4 ⁽¹⁾ | | 3 | 0 | 30 | | 1 | 17 | 0 | | 1 | | | 0 | 0 | 0 | | 2 | 8 | |
| c. 大学院 { | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 修士 { | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 文科 | 24 | 0 | 0 | | 0 | | 0 | | 0 | 0 | 3 | | 0 | 0 | 7 | | 0 | 4 | 0 | | 5 | | | 1 | 2 ⁽²⁾ | 0 | | 0 | 3 | |
| 理科 | 0 | 1 | 0 | | 0 | | 0 | | 4 | 1 | 3 | | 5 | 1 | 8 | | 0 | 5 | 0 | | 4 | | | 0 | 0 | 0 | | 0 | 3 | |
| 博士 { | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 文科 | 0 | 0 | 0 | | 0 | | 0 | | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 5 | | 0 | 5 | 0 | | 2 | | | 0 | 0 | 0 | | 0 | 2 | |
| 理科 | 0 | 0 | 0 | | 0 | | 0 | | 0 | 0 | 2 | | 0 | 0 | 19 | | 0 | 5 | 0 | | 0 | | | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | |
| B. 私費留学生 | 26 | 24 | 20 | 2 | 4 | 14 | 2 | 0 | 11 | 14 | 20 | 0 | 0 | 1 | 1 | 171 | 1 | 12 | 31 | 0 | 0 | 21 | 0 | 0 | 11 | 0 | 0 | 1 | 13 | 26 |
| a. 学部 { | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 文科 | 8 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 | | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | | | 2 | | | 0 | | | 0 | 0 | 0 | |
| 理科 | 0 | 20 | 7 | 0 | 1 | 13 | 2 | | 6 | 11 | 0 | | 0 | 0 | 21 | 0 | 11 | 0 | | | 7 | | | 6 | | | 0 | 2 | 11 | |
| b. 研究生 { | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 文科 | 18 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | | 0 | 2 | 3 | | 0 | 0 | 45 | 0 | 0 | 8 | | | 3 | | | 1 | | | 0 | 2 | 7 | |
| 理科 | 0 | 0 | 10 | 2 | 1 | 1 | 0 | | 4 | 1 | 12 | | 0 | 0 | 88 | 0 | 1 | 13 | | | 4 | | | 3 | | | 1 | 5 | 4 | |
| c. 大学院 { | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 修士 { | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 文科 | 13 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 1 | | | 0 | | | 0 | | | 0 | 0 | 3 | |
| 理科 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 1 | 0 | 1 | | 1 | 0 | 6 | 0 | 0 | 3 | | | 0 | | | 1 | | | 0 | 2 | 0 | |
| 博士 { | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 文科 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | | | 5 | | | 0 | | | 0 | 0 | 1 | |
| 理科 | 0 | 0 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 4 | | 0 | 0 | 9 | 0 | 0 | 3 | | | 0 | | | 0 | | | 0 | 2 | 0 | |

Ⅳ(1)

付表 1 1 外国人留学生の受入れ状況(その3)

| 大学番号 | 61 | 62 | 63 | 64 | 65 | 66 | 67 | 68 | 69 | 70 | 71 | 72 | 73 | 74 | 75 | 76 | 総計 | | | |
|----------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|--|--|----------|
| 外国人留学生 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| A. 国費留学生 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 41 | 0 | 6 | 0 | 3 | 1 | 2① | 0 | 7 | 1 | | | | 766(10)名 |
| a. 学部 | 文科 | | | 0 | | 0 | 1 | | 0 | | 0 | 0 | 1 | | 1 | 0 | | | | 49名 |
| | 理科 | | | 0 | | 0 | 1 | | 2 | | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | | | | 78名 |
| b. 研究生 | 文科 | | | 0 | | 1 | 3 | | 0 | | 0 | 0 | 1① | | 1 | 1 | | | | 217(4)名 |
| | 理科 | | | 0 | | 0 | 10 | | 1 | | 1 | 0 | 0 | | 2 | 0 | | | | 165(4)名 |
| c. 大学院 | 修士 | | | 0 | | 0 | 0 | | 0 | | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | | | | 44(2)名 |
| | 博士 | | | 1 | | 0 | 14 | | 3 | | 2 | 1 | 0 | | 3 | 0 | | | | 103名 |
| 博士 | 文科 | | | 0 | | 0 | 1 | | 0 | | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | | | | 30名 |
| | 理科 | | | 0 | | 0 | 11 | | 0 | | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | | | | 80名 |
| B. 私費留学生 | 4 | 0 | 3 | 7 | 3 | 0 | 62 | 0 | 1 | 1 | 34 | 24 | 0 | 0 | 47 | 2 | | | | 1,403名 |
| a. 学部 | 文科 | 0 | | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 | 1 | | | 0 | 2 | | | | 64名 |
| | 理科 | 1 | | 3 | 6 | 2 | 20 | | 0 | 0 | 18 | 18 | | | 24 | 0 | | | | 396名 |
| b. 研究生 | 文科 | 0* | | 0 | 0 | 0 | 4 | | 0 | 1 | 0 | 1 | | | 0 | 0 | | | | 236名 |
| | 理科 | 1 | | 0 | 1 | 0 | 18 | | 1 | 0 | 7 | 2 | | | 12 | 0 | | | | 373名 |
| c. 大学院 | 修士 | 0 | | 0 | 0 | 0 | 1 | | 0 | 0 | 0 | 1 | | | 0 | 0 | | | | 30名 |
| | 博士 | 0 | | 0 | 0 | 1 | 7 | | 0 | 0 | 5 | 0 | | | 3 | 0 | | | | 109名 |
| 博士 | 文科 | 0 | | 0 | 0 | 0 | 3 | | 0 | 0 | 0 | 0 | | | 0 | 0 | | | | 68名 |
| | 理科 | 2 | | 0 | 0 | 0 | 9 | | 0 | 0 | 4 | 1 | | | 8 | 0 | | | | 127名 |

* 県費留学生
研究留学生(文科系)2名

付表 1 3 国境外国人留学生制度についての改善意見（外国人留学生の日本語教育について）

| 意見概要 | 大学数 | 意見概要 | 大学数 |
|--|-----|--|-----|
| (i) 母国および日本での日本語教育の強化徹底。 (期間延長および専攻分野に応じた日本語教育など) | 18 | (ix) 日本語ラボの時間の増加。 | 2 |
| (ii) 日本語教育を正規の授業に組入れる。 外国語として履修することを認める。 | 7 | (x) 日本語の実地訓練の改善。 (日本人との交友を通じてなど) | 2 |
| (iii) 各大学(各都市)に日本語センターが必要。 (教官は留学経験者がよい) | 5 | (xi) チューター制度の一層の充実。 | 2 |
| (iv) 配置大学決定の際、日本語能力不十分と判定された者の取扱い方を 明確にする。日本語能力の判定基準の再検討。 | 3 | (xii) 日本語教育機関(外国語大学)での 日本語教育は有効である。 | 1 |
| (v) 受入れ決定後、6カ月～1年間外国語大学留学生別科などで日本語 教育を受けさせる。 | 3 | (xiii) 日本語教育担当教官の定員化、予算化。 | 1 |
| (vi) 在外日本語教育センターの設置。または日本文化センターにおける 日本語教育活動の拡充。 | 2 | (xiv) 外国の大学等における日本語教育活動の拡充。 | 1 |
| (vii) 統一した日本語教育テキストの配布。 | 2 | (xv) 交換留学生については日本語教育の期間がないので特に配慮してほ しい。 | 1 |
| (viii) 一定期間集中的・能率的に実施する。 | 2 | | |

付表 1 4 日本人学生の海外派遣についての意見

| 意見概要 | 大学数 | 意見概要 | 大学数 |
|-----------------------------|-----|----------------------------------|-----|
| (i) 派遣学生の定員の増加。 | 15 | (vi) 外国語の能力を重要な資格条件とする。 | 4 |
| (ii) 申請手続の簡素化および出国手続の円滑化。 | 6 | (vii) 奨学金の増額。 | 3 |
| (iii) 外国の教育制度に関する情報の積極的蒐集。 | 6 | (viii) 特に大学院学生の国際交流を大きく取上げてほしい。 | 2 |
| (iv) 相手大学との折衝は文部省などで一括して実施。 | 5 | (ix) 留学中の学生の成績によっては、留学期間の延長を認める。 | 1 |
| (v) 制度の拡充強化をはかるべきである。 | 4 | (x) 学生への送金の時期および金額に弾力性をもたせる。 | 1 |